

# NTTデータ経営研究所のご紹介

2026年3月

株式会社NTTデータ経営研究所  
社会・環境システム戦略コンサルティングユニット  
ユニット長 村岡 （執行役員、シニア・マネージング・ディレクター）

# 目次

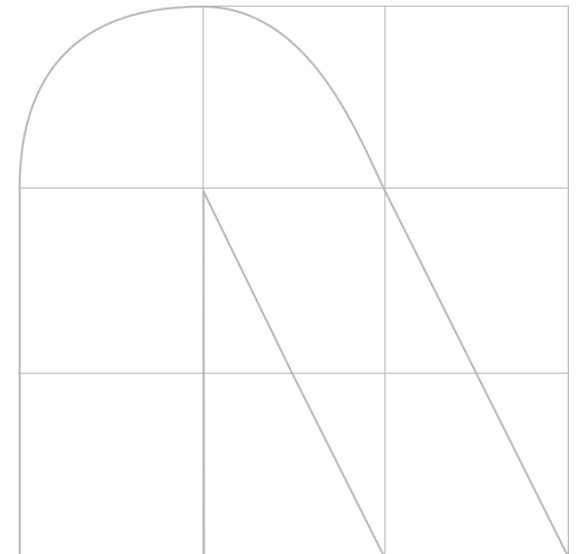
1. 会社概要及び活動方針

2. ユニット紹介

3. プロジェクト例及び参考資料

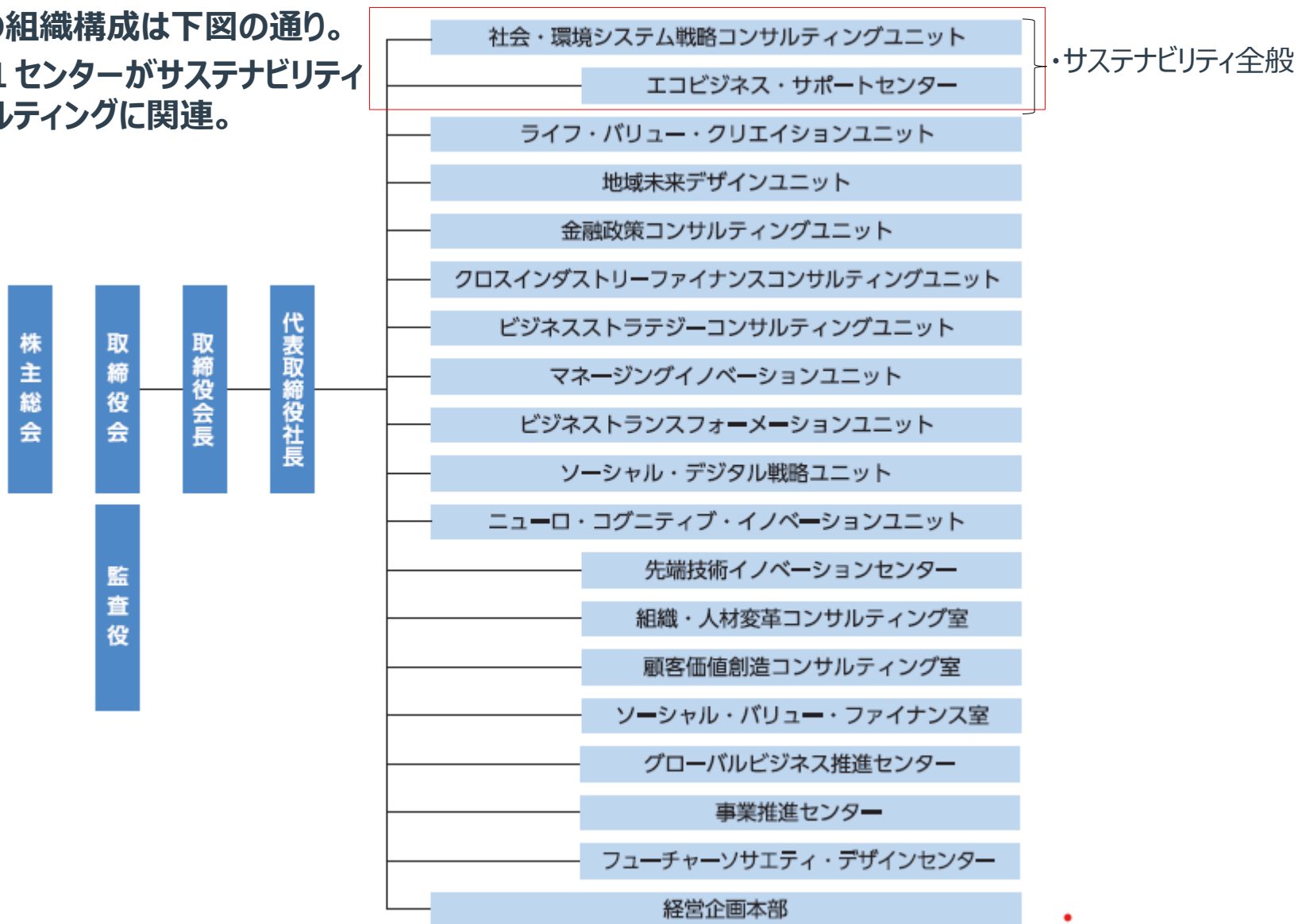
# 1.

## 基本方針



# 1. NTTデータ経営研究所の概要

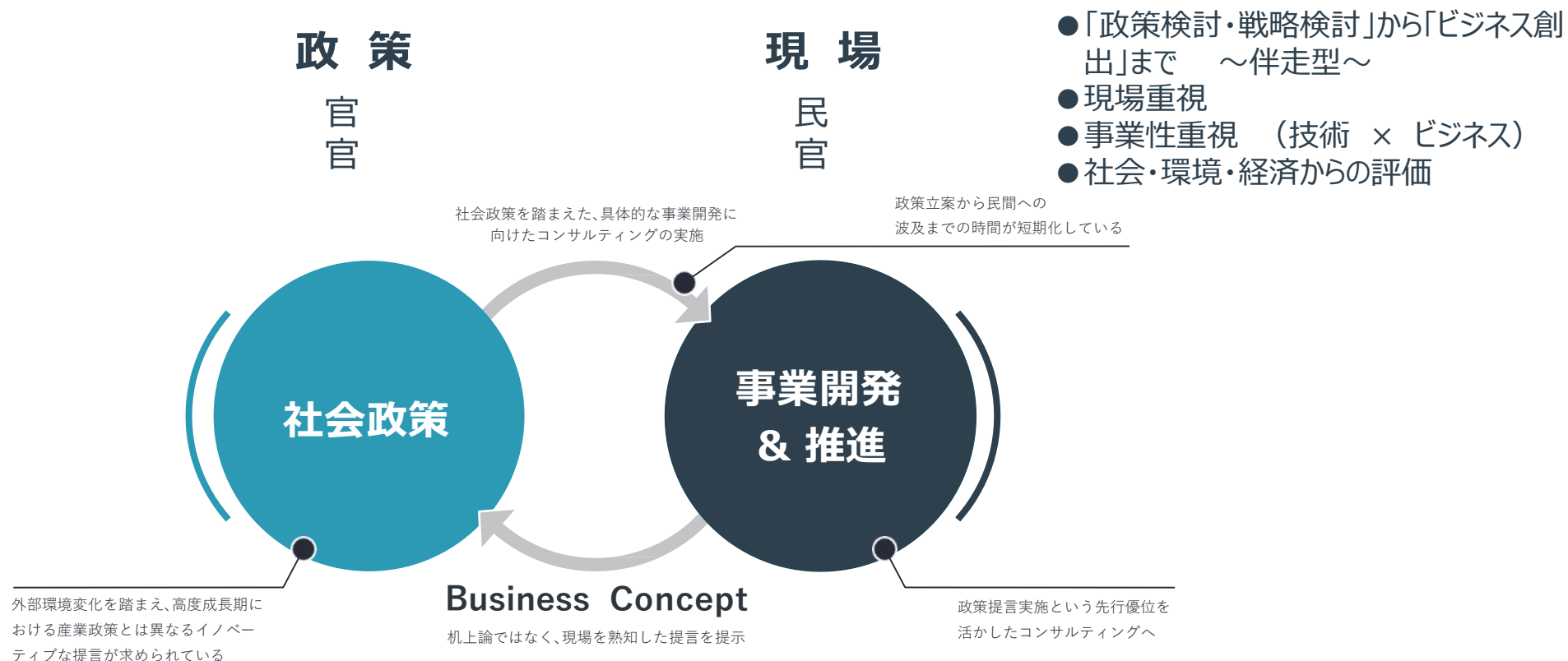
- 会社全体の組織構成は下図の通り。
- 3ユニット・1センターがサステナビリティ関連コンサルティングに関連。



## 2. 社会戦略ユニットの活動基本方針

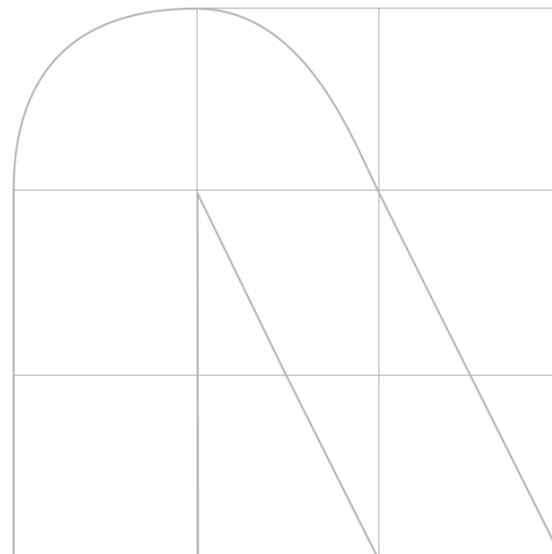
- ユニットとしての活動の基本方針は以下の通り。

### 1 企業理念「新しい社会の姿を構想し、ともに「情報未来」を築く」に基づき、事業コンセプト「Social and Business Design Cycle」を実践。



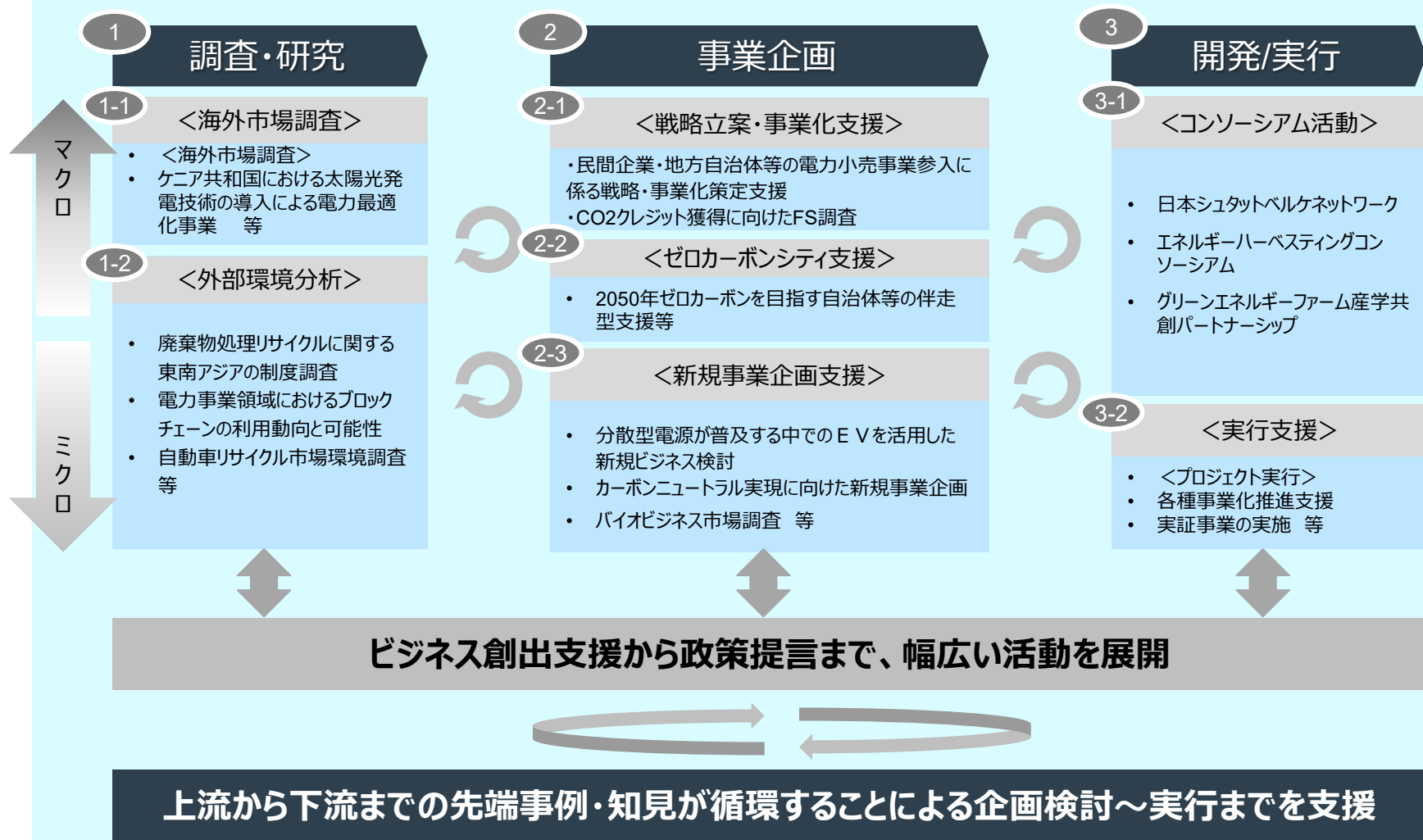
# 2.

## ユニット紹介



# 1. サービス領域とプロジェクトイメージ

## 環境・エネルギーに関する各種調査・研究から事業の実行支援まで幅広く活動を展開



## 2. 活動テーマ

- 主な活動テーマは以下の通り。

### 環境・エネルギー関連ビジネス創出、経営支援

- 環境・エネルギー関連のビジネス創出支援、環境・エネルギーの視点を取り入れた経営支援 等
- 村岡SMD、我妻M、日下M、吉川M 等

### サーキュラーエコノミーの対応支援

- サーキュラーエコノミー実現に向けたデータ流通、資源安全保障対応循環システム等の構築、3R関連ビジネス、資源効率性の向上 等
- 村岡SMG、加島D、濱M、青木M 等

### 地球温暖化対策（緩和策）

- CO<sub>2</sub>の排出削減、カーボンプレジット・グリーン証書取引、分散型電力システム（再エネ、スマートグリッド等）、水素利活用ビジネス、CCUSを含むCO<sub>2</sub>マネジメント 等
- 村岡SMD、東SM、山野SM、我妻M、日下M 等

### エネルギーを起点とした地域づくり

- 地方自治体の脱炭素化関連計画策定、脱炭素化関連計画ガイドラインの策定、地域エネルギー会社等を起点とする地域づくり、日本版シュタットベルケの創出 等
- 村岡SMD、桑畑M、吉川M、日下M、仲地M 等

### ESG投資・SDGs 経営

- CDP対応、情報開示支援、水リスク評価及び対応、環境・社会・ガバナンスに配慮した投資、インパクト評価 等
- 村岡SMD、仲地M、青木M、田中M 等

### 環境・エネルギー × 国際展開

- 国内で蓄積してきた環境・エネルギーに関する技術・システム等の国際展開、国内外企業等の連携支援 等
- 村岡SMD、東SM、王SS、鈴木M、吉川M 等

### デジタルを生かしたスマートなまちづくり

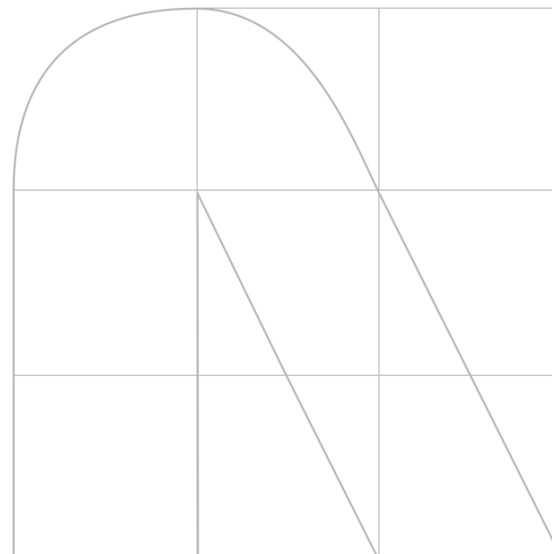
- ビッグデータ、ブロックチェーン等を取り入れたスマートなまちづくり 等
- 村岡SMD、松末M、日下M 等

### 地球温暖化対策（適応策）

- エネルギーハーベスティング技術を利用した適応対応、PVの遮熱効果を利用したスマート農業 等
- 村岡SMD、松末M、鈴木M、吉川M 等

# 3.

## プロジェクト例及び参考資料

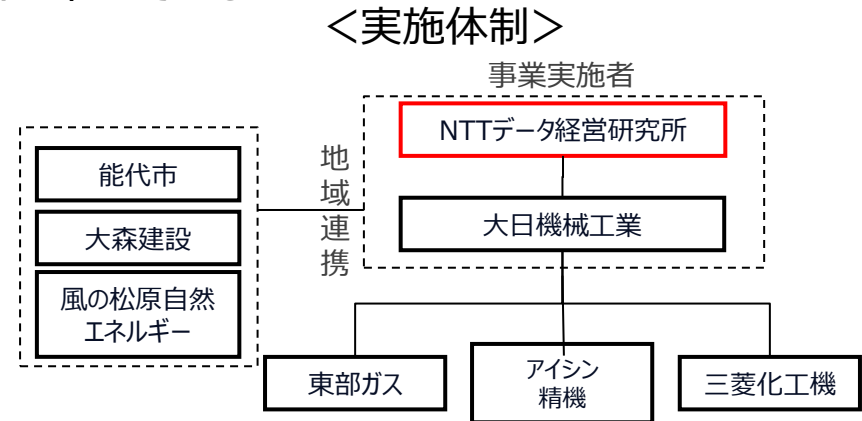


# 1. 取り組み事例 – ①環境エネルギービジネス × 地球温暖化対策（緩和策） 「未来先導型プロジェクト・環境省 地域連携・低炭素水素技術実証事業」

●再エネ由来のCO2フリー水素の利活用を目指す環境省の実証事業に採択され、2018～2021年度の4年間の予定で秋田県能代市にて専用施設を作り、水素×都市ガスの利用可能性を実証中。秋田県は洋上風力の適地として注目されており、大手風力事業者とも連携を模索中。水素エネルギーシステムは世界的にも注目を集めている。

## <事業概要>

- ・ 風力発電の電気からCO2フリー水素を製造し、都市ガスを混合させて利用実証する事業
- ・ 未来のエネルギーとして期待される水素を地球温暖化対策にも活用することを目指している



<2019年6月11日に実施した本実証事業の開所式の様子>

**環境省の城内副大臣を来賓として迎え、前川島社長もご挨拶**



<現地プラントの様子>

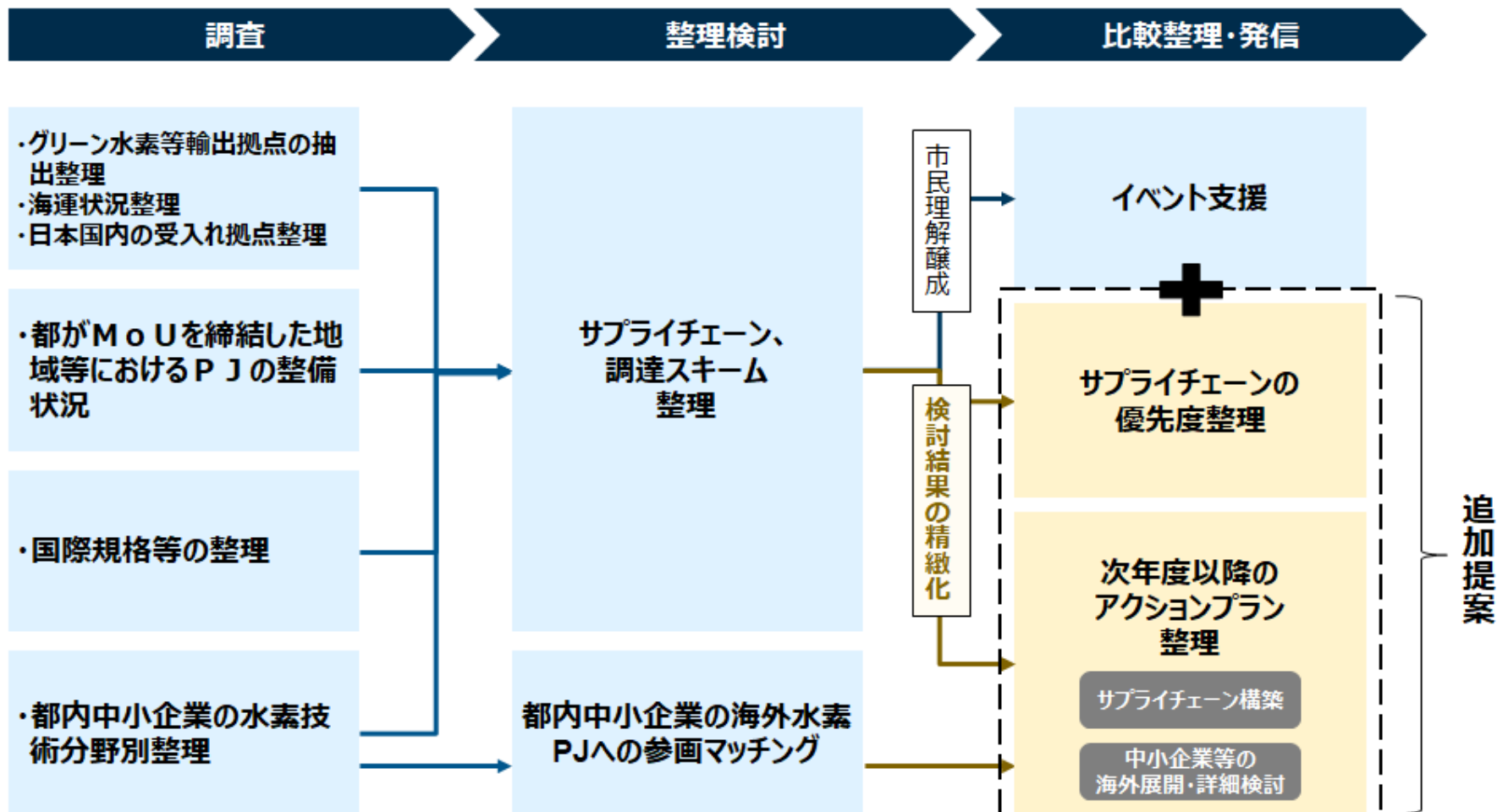


# (参考) 取り組み事例 - 水素関連業務実績例

No	発注者	業務名称及び業務概要	実施年度
①	環境省	○地域連携・低炭素水素技術実証事業「再エネ電解水素の製造及び水素混合ガスの供給利用実証事業」 ○秋田県能代市において、風力発電由来の再エネ電力で水の電気分解を行いグリーン水素を生み出した後、模擬天然ガスと混合した水素混合ガスをガスエンジン、エネファーム、ガスコンロ等の機器で利用する実証事業を代表事業者として実施。	平成30年度～令和3年度
②	NEDO	○地産地消型水素製造・利活用ポテンシャルに関する調査 ○秋田県産業技術センターと連携し、県内における水素の現在の需要量、将来の需要量を調査推計するとともに、県内の再エネ資源を利用した供給量調査を行い、両者のマッチングを行い、ビジネスモデルを検討。	平成31年度～令和2年度
③	唐津市	○水素利活用型エネルギー高度化モデルに関するF/S調査事業委託業務 ○唐津市内に存在する未利用中小水力発電ポテンシャルのある伊岐佐川にて、水力発電施設に水電解装置を併設し、グリーン水素を生出し、域内LPガス事業者と連携しデリバリーを行うビジネスの事業性を評価。	令和3年度
④	川崎市	○カーボンニュートラルコンビナート構築支援委託 ○川崎市における大規模工場が集中する臨海部において、カーボンニュートラルを実現するための調査、臨海部に立地する企業を集めたプラットフォームの運営等を実施。調査としては、複数の工場間における熱やCO <sub>2</sub> 等の融通利用、水素の共同利用等の可能性検討を実施。	令和4年度
⑤	NEDO	○有望技術分野の新規方法論開発に向けた調査「タイにおける中長距離FCトラックの事業性評価及び方法論検討」 ○タイにおいて中長距離トラックのFC化（コンバージョン）を進めた場合の事業性を評価するとともに、JCM適用を視野に入れて、CO <sub>2</sub> 排出削減効果を定量化するための方法論の検討を実施。	令和4年度
⑥	民間企業	○洋上風力発電の未利用電力を利用したグリーン水素製造供給事業の事業性評価 ○洋上風力発電事業を対象に、系統制約により出力抑制される場合の電力を利用したグリーン水素の製造供給事業の事業性を評価。	令和3年度
⑦	民間企業	○民間企業が有する既存インフラを活用した水素パイプライン供給事業の事業性評価 ○大都市圏を対象として、民間企業が有する既存インフラを利用し水素のパイプライン供給を行った場合の事業性を評価。水素需要量の推計、値さ補填制度の利用等の条件による事業性の変化を評価。	令和5年度（5月～7月）
⑧	川崎市	④の継続事業を受託。	令和5年度
⑨	NEDO	○タイにおけるFCトラックを利用した脱炭素型実証の実証前調査 ○タイにおけるFCフォークリフトを利用した国際実証の要件適合性調査 ○タイにおけるFCバスを利用した国際実証の要件適合性調査	令和5年度
⑩	民間企業	○洋上風力発電の未利用電力を利用したグリーン水素製造供給事業の事業性評価	令和5年度

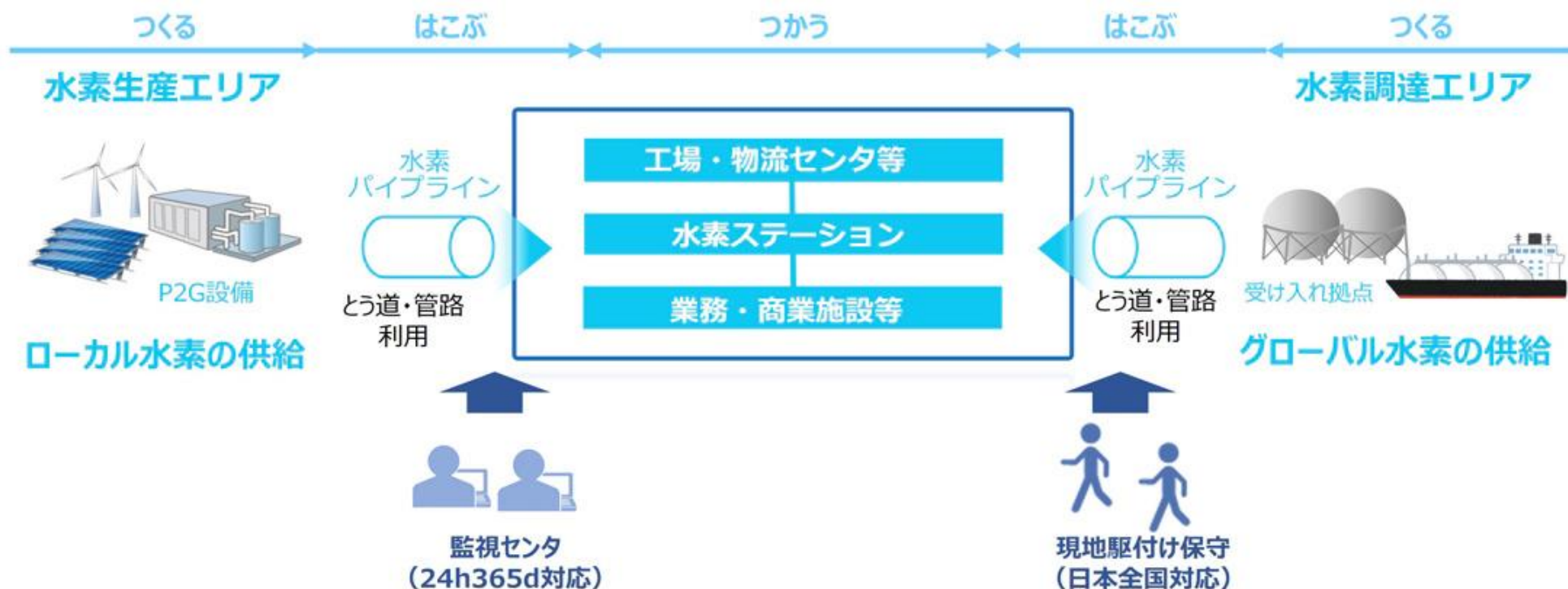


### 3. 取り組み事例 - ③ 環境・エネルギー×国際展開 「国際調査プロジェクト：グリーン（ブルー）水素輸入」



## 4. 取り組み事例 - ④ 環境・エネルギー×国内既存インフラ利用 「国内調査プロジェクト：グリーン（ブルー）水素輸送」

- 株式会社NTTデータ経営研究所（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：山口 重樹）は、空港臨海部においてパイプラインの敷設等を伴う大規模な水素の利用や供給の実現可能性調査等を東京都と共同で実施する事業者として協定を締結しました。
- 本事業では締結した協定に基づき、東京都空港臨海部における「つくる」「はこぶ」「つかう」それぞれの個別検討と「バリューチェーン全体」における事業性やロードマップ作成に関する検討を行います。



**NTT DATA**

株式会社NTTデータ経営研究所

Lighting the way  
to a brighter society